

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年 3月 1日

事業所名 スタジオそら原宿

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	9	0	スタッフ間で打ち合わせをしどの利用児童がどの部屋をどのくらいの時間使うか決めています。利用児童同士の組み合わせによっても部屋割りを変えています。	今後もスペースの有効活用を心掛けていきます
	②	職員の配置数は適切であるか	9	0	最低人員にプラスして加配をつけています。配置の確認も複数人で行っています。	人員配置としては適当な人数のため、今後も職員のスキルアップなどを行っていきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	0	部屋の名前を文字だけでなく、イラストなどで分かりやすく示しています。 洗面所に手洗いの手順を示したり、靴を脱ぐ場所は足型で示しています。 角に緩衝材をはり怪我を防いでいます。	部屋の取っ手が未就学児の手が届く高さにあるため安全管理に気を配っています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間になっている。	9	0	部屋の喚起、手洗いうがい、昼と夕方にこまめな消毒を行っています。	今後も清掃、消毒を徹底していきます。
適切な支援の内容	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画している	9	0	療育前の打ち合わせ時や終礼時に職員間でお子様様の情報を共有しています。 必要に応じてスタジオ会議を開催し、ケース検討や研修に取り組んでいます。	引き続き支援の充実を図ります。
	⑥	保護者向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げている	9	0	保護者評価を実施しています。いただいた評価やご意見を元に職員間で話し合い、改善につなげています。	職員全体が保護者ニーズを把握し、引き続き改善に向けて努めていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	回答をホームページにて開示しています。	今後も継続して実施していきます。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	9	第三者評価は行っていません	必要に応じて実施していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	入職の際は療育や制度について研修を実施しています。 虐待防止や日々の療育内容等について全員で社内研修も定期的実施しています。	個々のOJTでの研修がメインとなっています。今後も社内研修の充実化を図り、教える側のスタッフも学べる機会を増やせるよう工夫していきます。
業務改善	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	アセスメントに時間を多くとるようにしています。面談やアンケートにて保護者の方のニーズを把握し支援計画を作成しています。	保護者との面談の機会を増やせるよう、こちらからも積極的の声をかけるようにしていきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	社内共有の独自のアセスメントツールを使用しています。	アセスメントツールを使用できるスタッフを増やしていけるよう研修など実施していきます。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0	本人支援に置いて、運動・学習・生活という大きな三つの軸を基に設定しています。本人支援だけではなく、保護者や園・学校等に関しても必要に応じて対応しています。	ガイドラインをスタジオに設定し、いつでも目を通せるようにしているため今後も意識して確認できるように周知していきます。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0	目標の達成の為に、スモールステップで進められるようプログラムを立案して行っています。計画に沿って、統一した支援を行えるようにしています。	担当療育士が決まっていない為、どの療育士が担当になっても、目標達成状況を共有できるよう、打ち合わせを念入りに行っています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	打ち合わせを行い、療育目標の達成状況を確認して、方針を決めています。前回担当者との共有も必ず行い、話し合いながらプログラム内容を決めています。	スタッフ同士の話し合いの中で、意見交換をしながら、プログラム立案が行えるようにしています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	個別支援計画に沿ったプログラムは、前回内容なども振り返りながら、飽きないよう楽しく取り組める工夫をしています。集団での活動のプログラムは、毎月のテーマに沿った内容を取り入れることで固定化しないよう実施しています。	プログラム内容を共有しながら、新しい活動を取り入れることができるようにしています。

	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	9	0	基本は個別療育を中心に取り組んでいますが、本人やご家族の方からの要望に沿って、集団活動の目標を設定しています。	今後も要望を共有しながら、要望に合わせて提案し、計画に沿った支援ができるよう取り組んでいきます。
	⑭	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	朝礼時、前日の業務日誌を基に振り返りや注意事項などを共有しています。	今後も丁寧に打ち合わせを実施していきます。
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	終礼時に活動の報告、振り返り、保護者との話した内容などを共有しています。全員が発言できるよう工夫しています。	より効率のいい方法を検討していきます。
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	なるべく詳細に書き、スタッフ全員で情報を共有できるようにしております。	引き続き詳細な記録に努めます。
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	支援計画の切り替わり時に定期的にケース会議を行っています。それ以外でも必要に応じて実施しています。その中でスタッフがそれぞれの意見を話せるようにしています。	より広く職員が参加できるようスケジューリングなどを工夫して実施していきます。
関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	主に児童発達支援管理責任者が参加しています。	内容については事業所内で共有を行っています。
	⑲	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9	0	相談支援事業所や他事業所と連携を取っています。	内容については事業所内で共有を行っています。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	4	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの受け入れを現在行っていません。	必要に応じて検討します。
	㉒	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	6	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの受け入れを現在行っていません。	必要に応じて検討します。
	㉓	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	必要に応じて都度、実施しています。	継続して支援の充実を図っていきます。
	㉔	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	必要に応じて都度、実施しています。	継続して支援の充実を図っていきます。
	㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9	0	必要に応じて都度、実施しています。	継続して支援の充実を図っていきます。
	㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	9	地域交流を目的としたイベント等例年実施していたが、コロナ禍の影響で一旦休止となっています。	今後、機会を見て実施していきます。
	㉗	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9	0	定期的に行われている事業所連絡会などに参加し、子ども部会での内容を共有していただいています。	機会に応じて積極的な参加を実施していきます。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	主にフィードバック時に子供のことについて話し合い、状況や保護者の要望に合わせて面談を実施しています。	今後も支援の充実化を図っていきます。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0	9	可能な範囲内で家庭内の状況の聞きとりや、相談へのアドバイスを実施しています。	ペアレントトレーニングは事業所ごとで実施することは難しい為、事業所内で相談していただいた際に、提案できるような知識を増やすよう努めています。
	㉚	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	契約時、または必要に応じて説明を行っています。	今後も丁寧な説明に努めます。
	㉛	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0	個別支援計画書についての面談をして、ご要望の聞き取りを行い、ニーズをくみ取る工夫をしています。実際に個別支援計画書の書面を見せながら説明し同意を得ています。	お時間が取れないことが多い為、都度お話が出来るようにしていきます。
㉜	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	フィードバック中などで伝えきれない場合は、後日別途時間を作り、相談することができるよう工夫しています。	今後も気軽にお声がけいただけるよう意識していきます。	

保護者への説明責任等	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	9	保護者の要望を聞き取り、必要に応じて検討します。	保護者のニーズを聞き取り、必要に応じて検討します。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	フィードバック中などで伝えきれない場合は、後日別途時間を作り、相談することができるよう工夫しています。	今後も気軽にお声がけいただけるよう意識していきます。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	HP上で情報発信をしています。スタジオで掲示物を作成し活動内容の紹介等を行っています。またそら通信で各スタジオのプログラムを紹介を行っています。	HP上やそら通信の充実に加え、毎月のスタジオでの課題が充実できるよう工夫していきます。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0	個別ファイルを出しっぱなしにせず、キャビネット内で管理しています。フィードバックも必要に応じて部屋を分けることを意識しています。	今後も必要に応じて臨機応変に対応していきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	絵カードや文字でのメニュー提示を分けるなど、理解度に合わせた提示の仕方を工夫しています。保護者の方とは日頃からコミュニケーションを取るよう心がけています。	今後も子どもの理解度に合わせた指示の仕方など配慮していきます。また保護者の方には引き続き気軽に声をかけていただけるように普段からのコミュニケーションをとることも意識していきます。手段や工夫の方法をより多く知れるよう研修を実施していきます。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	9	そらコンサートの開催が感染症対策のため、実施することが難しい状況でした。あおぞら療育は地域の公園で行っています。	そらコンサートを実施し地域の方にも参加してもらえるようにしていましたが、新型コロナウイルス感染症対策の為、実施が難しい状況でした。今後感染症等の状況を踏まえながら検討していきます。
非常時の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0	定期的に研修、訓練を受けています。閲覧用マニュアルが設置され、掲示などでも周知されています。	今後も研修などで理解を深めていきます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	年に二回、訓練日を設け訓練しています。	定期的な訓練を実施していきます。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	0	情報共有を徹底しています。	対象児童についても情報共有だけでなく基礎知識をつけるための研修などに参加していきます。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	基本的に食事提供などはありませんが、イベント時の食品には注意しています。	今後も注意喚起を行っていきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	ファイルを作成し、いつでも閲覧できるようにしています。	今後も研修などで理解を深めていきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	定期的に研修を行っています。	今後も研修などで理解を深めていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	0	対象になる利用者がいない為、行っていないが、マニュアルはあるため、マニュアルの内容を共有しています。	今後も研修などで理解を深めていきます。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。